

皆様の声が「かたち」になりました!

千葉都市モノレール鉄軌道下(千葉公園駅~作草部駅間)の中央分離帯の舗装完了!



ろっぽう水のみち(都市水路)沿いの草刈りが完了しました!



祐光・高作公園内のベンチの座面交換完了!



トピックス マンホール蓋の効率的な維持管理を!

市内12万基のマンホール蓋の管理の課題

マンホール蓋の標準耐用年数は15年と言われています。長年使用していると耐久性が低下し、表面がつるつるになると雨の日に滑りやすくなったり、蓋のガタツキによる振動や騒音が発生します。また、ゲリラ豪雨などでマンホールが吹き飛ばされることもあります。

千葉市内には約12万基のマンホール蓋が設置されており、限られた予算と人員で、効率的な維持管理を行うことが課題とされています。

そこで、民間事業者と連携した画像認識技術やAI技術等のデジタル技術による実証実験を実施します。(中央区神明町、他2地区、令和6年7月5日~令和7年2月28日)

走りながら空間情報を取得できる車両(モバイルマッピングシステム)で、マンホール蓋の位置(経度緯度)を抽出し、市の下水道台帳と突き合わせた上でAIを用いてマンホール蓋の型式判定等を行います。

今回の実証実験が、低コストで効率的な管理につながることを期待しています。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声を聞かせください。

千葉市議会議員
森山かずひろ

Tel.043-245-5483 Fax.043-245-5584
<https://moriyama-kazuhiro.com/>

公明党千葉市議会議員団 議会報告

2024.10 森山通信 VOL.52



発行：公明党千葉市議会議員団 森山和博 / 千葉市中央区千葉港 3-30-204

9月4日から10月2日まで 令和6年・第3回定例会が開催されました。

ハラスメント対策について

法令に定義が示されるパワハラ、セクハラ、マタハラ等がある一方で、社会通念上においてハラスメントとして認識されている、人格否定や無視を行うモラルハラスメント、あるいは、取引先からの不当な要求や顧客からの悪質なクレームを受けるカスタマーハラスメント、飲酒を強要するアルコールハラスメントなど、法令に定義されるハラスメントに収まらないものが多く存在しています。昨今においては、あらゆる価値観が変容していることを理解し、様々なハラスメントに対して、意識改革を行うことが求められていると考えます。

Q 千葉市役所のハラスメント対策における取り組みについては?

A 職場におけるハラスメントは、個人の尊厳や人格を侵害する許されない行為であり、職場全体の生産性にも悪影響を及ぼすことから、組織をあげて防止に取り組む必要があると考えています。法令により防止対策が義務付けられている、いわゆるパワハラ、セクハラ、マタハラ等については、本市においても要綱や指針を整備するとともに、庁内に専用の相談窓口を設置するなど、組織的な対応を図っております。あわせて、職員がハラスメントについて理解を深められるよう、各種研修を実施しているほか、パワハラ防止の手引きやハラスメントに関する事例集を作成して、庁内に周知するなど、正しい知識の習得や意識啓発に努めています。

千葉市美術館について



千葉市美術館は1995年に中央区役所との複合施設として開館、その後2020年に建物すべてを美術館にリニューアルすることで、これまでの展示室などに加え、所蔵作品のハイライトを常設で展示できるようになったほか、参加・体験型のアトリエ、さらには美術にまつわる図書室の設置など、いつでもだれでも美術にふれあえる空間が整備されました。

明年2025年で開館30周年を迎えることから、さらに高みを目指し、今回の博物館法の改正を踏まえた美術館として、さらなるまちづくりへの活用や機能拡充などソフトとハードのリニューアルを目指すべきと考えます。



Q 今後の展開については?

A 来年度に開館30周年を迎えることを踏まえ企画展の充実を図るほか、令和8年度に迎える千葉開府900年を記念する特別企画展の準備を進めています。市内外から人々が気軽に集い、文化芸術に親しむ場であり続けられるよう、施設の老朽化への対応や時代に合わせた機能の改善などの環境整備も務めてまいります。

千葉市前澤友作アートのまちづくり基金を設置!

昨年、令和5年度に事業家の前澤友作氏から千葉市文化基金へ14億円超の寄付があり、「千葉市の芸術文化振興のために活用し、市民のみなさまがよき芸術文化へ触れる機会づくりにお役立てください。」と思いを添えられました。

そのようなことから本市としては、アートを活用した創造的な地域空間・地域活動の創出をはかるためには、既存の千葉市文化基金の枠を超えた新たな基金を設置して活用すべきと考えました。

今回の新しい基金の活用は、アート(現代アートを主とする美術)を活用したまちづくりにおいて、ハード面とソフト面で一体的に創造される取り組みを支援することを目的としています。



学校および保育施設等への給食費支援を継続します!

補正予算を計上し、物価高騰へ対応(学校給食費支援3億3000万円、保育施設等給食費等支援1億7000万円) 食材料費の高騰に対応するため、令和6年4月から9月まで実施している公費負担による給食費等の保護者負担軽減を10月以降も継続します!

市立小中学校(164校)

		一食当たり単価	当初予算措置額	+補正増額分	小計	合計
小学校	1～3年生	270	20	23	43	313
	4～6年生	288	22	24	46	334
第二養護学校	1～3年生	288	22	24	46	334
	4～6年生	298	23	25	48	346
中学校・中等教育学校(前期課程) 高等特別支援学校		320	24	27	51	371
養護学校		349	26	30	56	405

単位:円

保育施設等(公立保育所、民間保育園、認定こども園、幼稚園等489か所)

給食単価に物価上昇率を加味した補正増額分

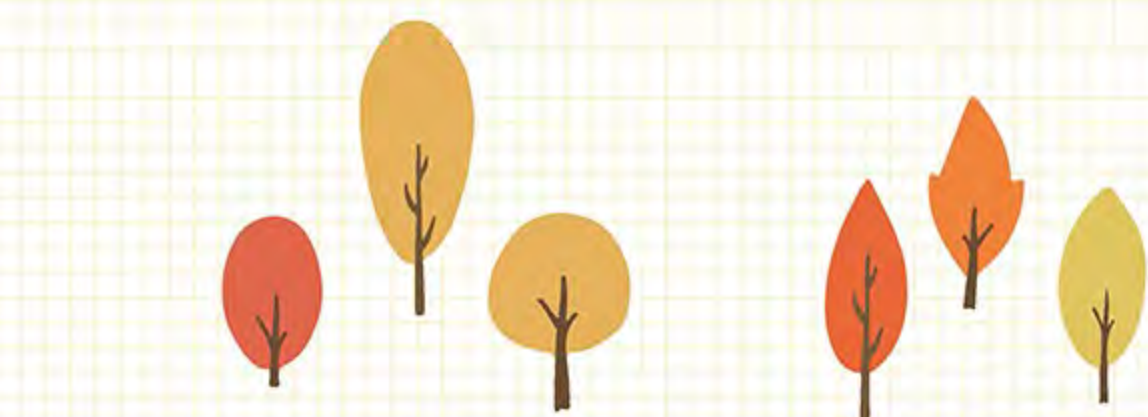
3歳以上児 ⇒ 約41円/食
3歳未満児 ⇒ 約61円/食



千葉公園再整備公園拡張用地の移転物件補償の債務負担行為で1億900万円

千葉公園再整備における中央図書館へのアプローチ整備に必要な公園拡張用地にある建物等を移転する補償のため、令和7年度から8年度の期間で、限度額1億900万円の債務負担行為を設定します。

千葉公園再整備 公園拡張用地移転物件補償 位置図



※千葉公園再整備マスタープラン 平面図(令和元年8月)をベース に作成		: 今回対象地(民有地)	1,281.39㎡
		: 弁天保育所(市有地)	2,701.46㎡
		: 合計(公園整備区域)	3,982.85㎡

令和5年度の決算審査特別委員会より

9月17日(火) 決算審査特別委員会を設置し、令和5年度の決算審査を行いました。

令和5年度の決算概要・ポイントについて

- ◎一般会計の規模…歳出総額5024億8300万円となり、対前年度比205億300万円、3.9%の減となりました。
歳入総額: 5062億8300万円 (対前年度比△235億7600万円 △4.4%)
歳出総額: 5024億8300万円 (対前年度比△205億300万円 △3.9%)
- ◎実質収支の確保…一般会計の実質収支は、歳入の市税が予算比で減収だったものの、歳出で、効率的な予算執行に務めたことで、28億5100万円を確保できました。
- ◎財政の健全性の維持…社会保障関係の経費が増額していることに伴い、財政調整基金残高は、対前年度比21億円の減となる一方で、全会計の市債残高は、対前年度比151億円の減となりました。また、基金借入金残高については着実に削減し、対前年度比20億円の減となりました。



決算審査特別委員会委員長



財政調整基金残高の推移

単位:億円

R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
149	170	190	128	89
△21	△20	62	39	13

※自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金

全会計の市債残高の推移

単位:億円

R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
9567	9718	9626	9701	9732
△151	92	△75	△31	△59

※必要な資金を国や金融機関などの外部から調達する借入金

基金借入金残高の推移

単位:億円

R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
157	177	197	237	247
△20	△20	△40	△10	△10

※基金からの借入金
下段は対前年度増減

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応や社会保障関連費の増加、さらには、新清掃工場、新病院など公共施設の整備費など、大きな財政負担がありました。決算審査の結果、令和5年度予算執行は、財政の健全化判断指標は大きくプラスに好転しないものの、中期財政運営方針を踏まえた財政運営がなされたと判断いたしました。

